

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
110023	X-01/21-A-1-110023			【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1・3年次生】経営情報学部経営学科 【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎 基礎 基礎 × × 基礎	選択 選択 選択 × × 選択	1年 1年 1年 × × 1年
授業科目	担当教員	2	後期				
ジェンダー論	矢口 裕子						

授業目的

ジェンダーとは、生物学的・肉体的性差と区別して、社会的・文化的に構築される性差を指す。ジェンダー論は1980年代以降一般化した新しい学問であるが、人として生まれたものであれば、年齢・人種・階層を問わず誰もが関わらざるをえない問題を多く含んでおり、2015年にはアメリカ全土で同性婚が合法化されるなど、グローバルな課題となっている。いる。本講義では、ジェンダー論を各自が自分の問題として捉えるとともに、批判的かつ建設的な眼差しをもって向きあう姿勢の構築を目指す。最新の学問的動向にも目を配りつつ、理論一辺倒にならないよう、理解の一部としてオーディオ・ヴィジュアル資料も適宜用いる予定である。

各回の授業内容

第1回	【授】 イントロダクション 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）	第9回	【授】 ジェンダーと暴力② 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）
第2回	【授】 言葉とジェンダー 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）	第10回	【授】 男性学の位相 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）
第3回	【授】 フェミニズムからジェンダー論へ—歴史と理論① 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）	第11回	【授】 メディアのなかのジェンダー① 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）
第4回	【授】 フェミニズムからジェンダー論へ—歴史と理論② 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）	第12回	【授】 メディアのなかのジェンダー② 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）
第5回	【授】 セクシュアル・マイノリティ① 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）	第13回	【授】 ジェンダーとアート① 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）
第6回	【授】 セクシュアル・マイノリティ② 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）	第14回	【授】 ジェンダーとアート② 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）
第7回	【授】 セクシュアル・ハラスメント／ドメスティック・バイオレンス 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）	第15回	【授】 まとめ 【前・後】総復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）
第8回	【授】 ジェンダーと暴力① 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）	第16回	【授】 試験または／およびレポート 【前・後】試験勉強／レポート作成（予習復習に4時間）

成績評価方法

授業内に随時課す少レポート、コメントへの講評

成績は定期試験または期末レポート90%、授業内レポート10%で評価する。

教科書・参考書

授業中に指示する。

受講に当たっての留意事項

出席のための出席は意味がない。というより、本人・他の学生・教員にとってマイナスにしかならない。私語は厳禁。自分が欠席した授業の内容・そこで伝えられた情報は自己責任で回収すること。試験・レポートに際し剽窃・コピペは自動的に落第、ウィキペディア等執筆者が特定できないものを資料として使うことはできない。

実務経験のある 教員による授業 科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×		×

学習到達目標

ジェンダー論の基礎概念・歴史的経緯を学ぶとともに、自分の生き方にかかわる問題としての意識が身につく。

JABEE

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習